

【 健 康 增 進 課 】

第 1 健康増進事業

1 健康手帳の交付

市ホームページからのダウンロードにより配布。

2 健康教育

(1) 市職員出前講座

内容	対象者	開催数（回）	参加者数（人）
たばこについて知ろう	専門学校生	1	38
たばこについて知ろう	中学生	1	150
子どもたちに知ってほしいがん予防	中学生から保護者	2	70

(2) その他

開催日	内容	対象者	参加者数（人）
6月18日	受動喫煙防止対策～たばこのルール～ （岡崎商工会議所 食品・サービス部会）	岡崎商工会議所 食品・サービス部会会員	60
10月5日	避難所における健康管理について	一般市民	63
11月19日	確認！飲食店等第二種施設の喫煙ルール&みんなで取り組む食品ロス削減！	岡崎商工会議所 食品・サービス部会会員	58
通年	がん等集団検診時の健康教育（108回）	がん等検診受診者	930

3 健康相談

（単位：人）

39歳以下	40～64歳	65歳以上	年齢不詳	計
1	4	2	3	10

4 訪問指導

(1) 対象

おおむね40～64歳までの療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等

(2) 実施状況

被指導実人数 5件

5 がん等検診

(1) 各種健診・検診

ア 体制及び自己負担金額

	体制 対象年齢	集団・センター 型	人間ドック型	ミニドック型	個別 医療機関型	特定健診 同時実施型
胃がん検診 (胃部X線検査)	40～69歳	1,500円	国保・後期 40歳～64歳： 14,000円 65歳以上： 11,600円 集合契約に属 する医療保険 被扶養者 40歳以上： 15,600円	国保・後期 40歳以上： 6,600円		
	70歳以上	1,000円				
胃がん検診 (胃内視鏡検査)	50～69歳	4,500円			5,000円	
	70歳以上	3,000円			3,500円	
肺がん検診 (胸部X線・喀痰細胞診)	40～69歳	800円				
	70歳以上	500円				
大腸がん検診 (便潜血二回法)	40～69歳	500円	40歳以上： 15,600円			500円
	70歳以上	無料				無料
ペプシノゲン法+ピロリ 抗体検査 (単独受診可)	40歳のみ		1,000円	1,000円		
子宮がん検診 (子宮頸部細胞診/隔年受診)	20～69歳		1,300円		2,300円	
	70歳以上		800円		1,500円	
ヒトパピローマウイルス検査 (単独受診不可)	20～49歳		1,500円		1,500円	
乳がん検診 (マンモグラフィ方向・40～49 歳二方向/隔年受診)	40～69歳	1,500円	1,500円 (視触診含む)			
	70歳以上	1,000円	1,000円 (視触診含む)			
骨粗しょう症検診 (踵部超音波検査または DEXA法/隔年受診)	20～69歳	500円	女性のみ基本 セットに含む			
	70歳以上	無料				
前立腺がん検診 (PSA検査)	65歳のみ	1,000円	40歳以上の男 性のみ基本 セットに含む	1,000円		1,000円
肝炎ウイルス検査 (HBs抗原検査・HCV抗体検査)	40歳及び 41歳以上でH14 以降に受診歴の ない者		無料			無料

※人間ドック型・ミニドック型の自己負担額は、がん検診以外にかかる金額も含む

※肺がん検診では、問診の結果、50歳以上で喫煙指数600以上の者に喀痰細胞診を実施

※子宮がん検診（個別医療機関型）の際に子宮体がん検診を同時実施した場合の自己負担金額
は、69歳以下：3,200円、70歳以上：2,000円

※肝炎ウイルス検診は、HCV抗体検査の結果により、HCV核酸増幅検査を実施

※市民税非課税世帯は自己負担減額、生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給者は自己負担免除。人間ドック型・ミニドック型・HPV検査・ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査は自己負担金減額・免除なし。

※子宮がん検診、乳がん検診については、国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の「子宮頸がん及び乳がん検診のクーポン券等配布」を活用し、無料クーポン券を利用した受診促進を行っている。無料クーポン券対象者は、全ての体制で該当の検診が無料

イ 期間及び場所

	期間	場所
人間ドック型	4月～3月	宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
ミニドック型	6月～2月	岡崎市医師会公衆衛生センター
集団型	6月～2月	市民センター等市内7会場（岡崎市医師会集団検診車）
センター型		宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
個別医療機関型	6月～2月	岡崎市医師会協力医療機関
特定健診同時実施型	6 健康診査	(3) 期間及び場所と同じ

ウ 人間ドック型・ミニドック型

(ア) 内容

	人間ドック型	ミニドック型
基本項目	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診(男性のみ)、骨密度測定(女性のみ)、眼科検査、聴力検査、血液検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査等	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、腹部超音波検査、心電図検査、血液検査等
必要者のみ	肝炎ウイルス検診、喀痰検査	
オプション項目 (各検診の対象者に準ずる)	子宮がん検診、乳がん検診、ヒトパピローマウイルス（HPV）検査、ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査	乳がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症検診、ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査

(イ) 医療保険区分別受診状況

(単位：人)

年度	国保加入者	後期高齢者	集合契約	計
R5年度	10,823	4,299	1,142	16,264
R6年度	9,899	4,509	1,045	15,453
R7年度	9,427	4,864	972	15,263

(2) 検診受診状況

ア 胃がん

(ア) 主要指標の年次推移

	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）	226,678	227,424	228,156
受診者数（人）	15,318	16,225	17,181
受診率（％）	6.8	7.1	7.5
要精密検査者（人）	958	828	823※
要精密検査率（％）	6.3	5.1	4.8
精密検査受診者数（人）	548	488	468※
精密検査受診率（％）	57.2	58.9	56.9
陽性反応適中度（％）	0.7	1.4	1.2
がんであった者（人）	7	12	10
がん発見率（％）	0.05	0.07	0.06

各年度翌年4月1日時点の数値、対象者は40歳以上の男女

受診者のうち人間ドック型は、令和5年度は胃部X線のみ、令和6年度は胃部X線及び胃内視鏡（50歳以上偶数年齢）、令和7年度は胃部X線及び胃内視鏡（50歳以上）を集計

※要精密検査者には胃内視鏡で生検を実施した者を含む

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診 胃部X線	センター検診		人間ドック型		ミニドック型 胃部X線	個別検診 胃内視鏡	計
		胃部X線	胃内視鏡	胃部X線	胃内視鏡			
R5年度	981	3,517	837	9,090		754	139	15,318
R6年度	876	3,355	973	8,417	1,691	737	176	16,225
R7年度	795	3,048	907	8,033	3,430	797	171	17,181

(ウ) ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査体制別年次推移

		集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別検診	計
R5年度	対象者（人）	36	341	44	6	—	427
	受検者（人）	34	312	21	4	—	371
	受検率（％）	94.4	91.5	47.7	66.7	—	86.9
R6年度	対象者（人）	51	285	42	5	—	383
	受検者（人）	50	264	19	0	—	333
	受検率（％）	98.0	92.6	45.2	0	—	86.9
R7年度	対象者（人）	23	236	38	3	—	300
	受検者（人）	20	212	13	0	—	245
	受検率（％）	87.0	89.8	34.2	0	—	81.7

人間ドック型は胃内視鏡検査受診者を含む

(エ) 精密検査結果（令和8年6月末現在）

(単位：人)

	受診者数	要精密 検査者	結 果※				
			異常 認めず	がんで あった者	がん以外の疾患 であった者	未受診	未把握
男	8,423	516	73	6	265	19	153
女	8,758	307	50	4	178	7	68
計	17,181	823	123	10	443	26	221

※胃内視鏡で生検を実施した者は生検の結果で集計

イ 肺がん検診

(ア) 主要指標の年次推移

	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）	226,678	227,424	228,156
受診者数（人）	21,072	20,442	19,963
受診率（％）	9.3	9.0	8.7
要精密検査者（人）	357	405	422
要精密検査率（％）	1.7	2.0	2.1
精密検査受診者数（人）	235	279	353
精密検査受診率（％）	65.8	68.9	83.6
陽性反応適中度（％）	0.6	1.2	0.7
がんであった者（人）	2	5	3
がん発見率（％）	0.01	0.02	0.02

各年度翌年4月1日時点の数値、対象者は40歳以上の男女

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

年度	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	計
R5年度	980	4,200	14,876	1,016	21,072
R6年度	939	4,177	14,305	1,021	20,442
R7年度	873	3,946	14,025	1,119	19,963

(ウ) 精密検査結果（令和8年6月末現在）

(単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果					再掲	
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	喀痰細胞診受診者数	要精密検査者
男	9,349	221	47	2	131	3	58	194	4
女	10,614	201	43	1	129	2	26	11	1
計	19,963	422	90	3	260	5	64	204	5

ウ 大腸がん

(ア) 主要指標の年次推移

	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）	226,678	227,424	228,156
受診者数（人）	38,867	38,437	37,743
受診率（％）	17.1	16.9	16.5
要精密検査者（人）	2,275	2,329	2,198
要精密検査率（％）	5.9	6.1	5.8
精密検査受診者数（人）	1,260	1,196	1,408
精密検査受診率（％）	55.4	51.4	64.1
陽性反応適中度（％）	2.0	1.8	2.7
がんであった者（人）	46	41	59
がん発見率（％）	0.12	0.11	0.16

各年度翌年4月1日時点の数値、対象者は40歳以上の男女

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

区分 年度	集団検診	センター検診	集団・センター(特定)検診	人間ドック型	ミニドック型	個別(特定)検診	計
R5年度	684	3,978	373	14,782	1,010	18,040	38,867
R6年度	635	3,868	374	14,207	1,004	18,349	38,437
R7年度	622	3,783	5※	13,918	1,106	18,309	37,743

※令和7年度から集団（特定）検診会場での実施なし

(ウ) 精密検査結果（令和8年6月末現在）

(単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果				
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
男	16,061	1,130	214	32	474	51	359
女	21,682	1,068	253	27	408	46	334
計	37,743	2,198	467	59	882	97	693

エ 子宮がん

(ア) 主要指標の年次推移

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）		76,734	73,141	155,310	155,130	155,129
受診者数（人）		8,516	8,038	8,257	7,845	7,318
受診率（％）		11.1	11.0	5.3	5.1	4.7
要精密検査者（人）		249	242	230	170	136
要精密検査率（％）		2.9	3.0	2.8	2.2	1.9
精密検査受診者数（人）		122	132	135	102	92
精密検査受診率（％）		49.0	54.5	58.7	60.0	67.6
陽性反応適中度（％）	上段：子宮頸がん	0.8	1.7	0.4	0.0	0.0
	下段：子宮体がん	—	0.4	—	—	1.5
がんであった者（人）	上段：子宮頸がん	2	4	1	0	0
	下段：子宮体がん	—	1	—	—	2
がん発見率（％）	上段：子宮頸がん	0.02	0.05	0.01	0.00	0.00
	下段：子宮体がん	—	0.01	—	—	0.03
無料クーポン券（再掲）	対象者（人）	1,991	1,860	1,855	1,796	1,843
	受診者数（人）	137	85	113	83	49
	受診率（％）	6.9	4.6	6.1	4.6	2.7

各年度翌年４月１日時点の数値

対象者は令和３・４年度は推計対象者数、令和５・６・７年度は20歳以上の女性

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
R3年度	1,159 (23)	3,007 (31)	2,166 (—)	2,184 (83)	8,516 (137)
R4年度	926 (11)	2,921 (27)	2,029 (—)	2,162 (47)	8,038 (85)
R5年度	1,109 (18)	2,914 (21)	2,093 (—)	2,141 (74)	8,257 (113)
R6年度	1,133 (17)	2,933 (22)	1,960 (—)	1,819 (44)	7,845 (83)
R7年度	909 (7)	2,874 (13)	1,802 (—)	1,733 (29)	7,318 (49)

()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果（令和８年６月末現在）

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結果（結果不明者を除く）				
()は体部受診掲載		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
7,318(94)	136(2)	23	2	57	8	46

(エ) ヒトパピローマウイルス（HPV）検査体制別年次推移

		集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
R3年度	対象者（人）	621	1,430	305	1,484	3,840
	受検者（人）	127	733	50	1,246	2,156
	受検率（％）	20.5	51.3	16.4	84.0	56.1
R4年度	対象者（人）	476	1,328	282	1,458	3,544
	受検者（人）	71	662	44	1,202	1,979
	受検率（％）	14.9	49.8	15.6	82.4	55.8
R5年度	対象者（人）	584	1,323	241	1,472	3,620
	受検者（人）	84	662	34	1,229	2,009
	受検率（％）	14.4	50.0	14.1	83.5	55.5
R6年度	対象者（人）	590	1,242	207	1,200	3,239
	受検者（人）	96	627	33	906	1,662
	受検率（％）	16.3	50.5	15.9	75.5	51.3
R7年度	対象者（人）	412	1,226	167	1,096	2,901
	受検者（人）	72	687	22	826	1,607
	受検率（％）	17.5	56.0	13.2	75.4	55.4

対象者は、子宮がん検診受診者のうちHPV検査対象の者

オ 乳がん

(ア) 主要指標の年次推移

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
対象者（人）		62,418	59,496	114,836	115,216	115,625
受診者数（人）		7,361	6,710	6,661	6,543	6,022
受診率（％）		11.8	11.3	5.8	5.7	5.2
要精密検査者（人）		505	471	399	506	467
要精密検査率（％）		6.9	7.0	6.0	7.7	7.8
精密検査受診者数（人）		360	415	253	348	432
精密検査受診率（％）		71.3	88.1	63.4	68.8	92.5
陽性反応適中度（％）		6.3	5.9	6.7	4.3	4.7
がんであった者（人）		32	28	17	22	22
がん発見率（％）		0.43	0.42	0.26	0.34	0.37
無料クーポン券（再掲）	対象者（人）	2,499	2,344	2,410	2,329	2,329
	受診者数（人）	396	403	282	333	235
	受診率（％）	15.8	17.2	11.7	14.3	10.1

各年度翌年4月末時点の数値

対象者は令和3・4年度は推計対象者数、令和5・6・7年度は40歳以上の女性

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	計
R3年度	1,275 (99)	3,391 (269)	2,695 (28)	7,361 (396)
R4年度	1,015 (97)	3,187 (265)	2,508 (41)	6,710 (403)
R5年度	1,067 (72)	3,147 (188)	2,447 (22)	6,661 (282)
R6年度	1,084 (108)	3,149 (209)	2,310 (16)	6,543 (333)
R7年度	962 (60)	2,936 (156)	2,124 (19)	6,022 (235)

()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果（令和8年6月末現在）

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
6,022	467	194	22	209	15	27

カ 前立腺がん検診受診状況

(ア) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別(特定)検診	計
R5年度	3	46	7,298	4	83	7,434
R6年度	6	42	7,022	6	83	7,159
R7年度	8	51	6,983	8	75	7,125

(イ) 精密検査結果（令和8年6月末現在）

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
7,125	711	76	29	359	—	247

キ 骨粗しょう症

(ア) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック	計
R3年度	1,045	2,850	7,931		11,826
R4年度	849	2,820	7,845		11,514
R5年度	908	2,760	7,730		11,398
R6年度	862	2,727	7,327		10,916
R7年度	744	2,658	7,156	93	10,651

(イ) 検診結果

(単位：人)

受診者数	結 果					
	異常なし	要指導	要観察	要再検	要精検	治療中
10,651	3,577	1	3,845	2	1,712	1,514

ク 肝炎ウイルス

(ア) 体制別年次推移

(単位：人)

	B 型			C 型		
	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
集団検診	111	118	77	111	118	76
センター検診	801	752	712	801	752	707
集団(特定) 検診	343	301	282	344	300	282
定点(特定) 検診	320	295	295	319	293	291
人間ドック	788	748	676	805	747	680
ミニドック	86	65	81	86	65	82
個別(特定)検診	908	1,461	1,256	911	1,452	1,259
計	3,357	3,740	3,379	3,377	3,727	3,377

(イ) 年齢階級別検診結果

(単位：人)

	受診者数		B 型肝炎ウイルス		C 型肝炎ウイルス			
	B 型	C 型	陽性	陰性	高力価	中・低力価		陰性
						HCV 核酸増幅検査陽性	HCV 核酸増幅検査陰性	
40 歳	273	273	1	272	—	—	—	273
41～49 歳	497	490	—	497	1	—	1	488
50～59 歳	401	402	2	399	—	—	2	400
60～69 歳	1,090	1,086	4	1,086	—	—※	—※	1,085
70 歳以上	1,118	1,126	5	1,113	1	—※	8※	1,116
計	3,379	3,377	12	3,367	2	0	11	3,362

※HCV核酸増幅検査未実施のため判定不詳2名を除く

ケ 脳ドック

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者で、前年度に市が実施する脳ドック検診の受診歴がない者

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、血圧、頭部MR I（断層撮影）、頭部MR A（脳動脈撮影）

自己負担金額：16,000円

(ウ) 期間及び場所

4月～3月（愛知医科大学メディカルセンター、ありま脳神経外科クリニック、宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院、ワシミ整形外科）

(エ) 募集人数・受診状況

(単位：人)

	R5年度	R6年度	R7年度
募集人数	1,000	900	900
受診者数	659	830	875

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果

(単位：人)

	受診者数	結果				
		判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (所見あり)	判定4 (経過観察)	判定5 (要精検)
40～49歳	105	72	24	—	4	5
50～59歳	220	99	74	9	26	12
60～69歳	273	56	145	13	43	16
70～79歳	232	19	123	28	46	16
80歳以上	45	1	25	4	14	1
計	875	247	391	54	133	50

コ 肺ドック

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者。ヘビースモーカー（多量にたばこを吸う者）、咳や痰が繰り返し出る、家系に肺がん既往者がある、肺の病気が不安な方推奨

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、喀痰細胞診検査（3日法）、胸部X線直接撮影、胸部ヘリカルCT撮影
自己負担金額：10,500円

(ウ) 期間及び場所

11月～2月（岡崎市医師会はるさき健診センター）

(エ) 募集人数・受診状況

(単位：人)

区分	R5年度	R6年度	R7年度
募集人数	30	30	25
受診者数	16	8	10

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果

(単位：人)

受診者数	結 果			
	判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (経過観察)	判定4 (要精検)
10	1	1	8	—

(3) フォローアップ事業

ア 肝炎ウイルス陽性者

肝炎による健康障害の回避、症状の軽減又は進行の遅延を図ることを目的に、肝炎ウイルス検診結果陽性者等に対し、肝炎ウイルス感染の状況を認識させ、必要に応じて保健指導等を行い、適切な医療機関の受診につなげている。

また、愛知県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業の「検査費用助成事業」を利用した精密検査受診をすすめている。

(ア) 対象

岡崎市に住所を有し、平成20年度から令和7年度までに肝炎ウイルス検診を受診した者のうち、下記の①②に該当する者

- ① HBs抗原検査において「陽性」と判定された者（以下「B型」）
- ② C型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者（以下「C型」）

(イ) 内容

年1回、調査票を送付し、医療機関受診状況・服薬状況等を把握する。令和7年度受診者については、医療機関受診を勧奨するとともに、事業について案内し、次年度以降の継続支援につなげている。

(ウ) 支援状況

(単位：人)

	対象者数	調査票回答者数	調査票回答者数のうち、 医療機関受診者数
B型	251 (5)	145 (－)	126 (－)
C型	92 (1)		
B型＋C型	1 (－)		

() 内は令和7年度受診者を再掲

イ がん検診要精密検査者

(ア) 対象

令和6年度に胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診を受診した者のうち、要精密検査と判定された者（ただし、胃内視鏡検査受診者・子宮頸がん個別検診受診者は除く。）

(イ) 内容

	対象者	方法	実施
検診結果報告及び初回受診勧奨	要精密検査者	検診受診後約3週間頃に、郵送で検診結果を通知し、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託
再勧奨	初回受診勧奨後、精密検査受診結果が確認できない者	検診受診後約3か月時点で、郵送で精密検査受診状況を調査するとともに、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託
再々勧奨	再勧奨後、精密検査受診が確認できない者のうち、40歳から69歳までの者	検診受診後約6か月時点で、郵送で精密検査受診を勧奨する。	健康増進課 保健師

(ウ) 令和6年度精密検査受診の有無 把握状況

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
精検受診率	77.7	86.9	66.4	68.6	65.6
精検未受診率	3.6	0	0	0	28.6
精検未把握率	18.7	13.1	33.6	31.4	5.9

6 健康診査

(1) 内容

ア 基本的な健診項目

既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む）、自覚症状及び他覚症状の検査、身体計測（身長・体重・腹囲・BMI）、血圧（収縮期血圧・拡張期血圧）、血中脂質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C）、肝機能検査（GOT・GPT・γ-GTP）、血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c）、尿検査（糖・蛋白）

イ 詳細な健診項目

貧血検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値）、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン

ウ 市独自の追加項目

血清クレアチニン（詳細項目に該当しない者）、アルブミン、尿酸

(2) 対象及び実施体制

医療保険適用除外者（生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付受給者）を対象に無料で実施

(3) 期間及び場所

		対象	期間	場所
集団健診	市内巡回型	40～64歳の者	6月～10月	岡崎市医師会公衆衛生センター、市民センター等市内12会場
	健診センター型		6月～2月	岡崎市医師会はるさき健診センター
個別健診		65歳以上の者	6月～10月 ※眼科検査のみ12月まで実施	市内協力医療機関

年齢は令和8年3月31日現在、本人が希望した場合は年齢対象外でも個別健診の受診可。

(4) 受診状況

体制別年次推移

	集団健診		個別健診		計	
	対象者数 (人)	受診者数(人) (受診率)(%)	対象者数 (人)	受診者数(人) (受診率)(%)	対象者数 (人)	受診者数(人) (受診率)(%)
R5年度	775	71(9.2)	1,077	326(30.3)	1,852	397(21.4)
R6年度	819	71(8.7)	1,118	360(32.2)	1,937	431(22.3)
R7年度	862	84(9.7)	1,188	350(29.5)	2,050	434(21.2)

(5) 生活保護受給者の健康管理支援

地域福祉課が行う被保護者健康管理支援事業のうち、事前協議した取組方策を実施する。

ア 健診受診勧奨

健康増進課が実施する健康診査および医療機関の受診が過去に一度もない40～64歳の者について、健康診査個別通知を担当ケースワーカーにより手渡しすることで、健診受診勧奨を実施

イ 健診事後指導

健康診査を受診した者のうち、40 歳～64 歳で特定保健指導区分における「動機付け支援・積極的支援」の該当者に対して、家庭訪問により保健指導を実施。

被指導実人数 5 件 （訪問指導の 5 件と重複）

7 岡崎市生活習慣病対策会議

開催日	内容	参加委員数（人）
11月13日	・令和6年度がん検診実施結果等報告 ・令和7年度のがん検診等実施状況報告	9

8 受動喫煙防止対策

(1) 喫煙可能室設置届出

健康増進法施行規則等の一部を改正する省令附則第2条第6項の規定により、既存特定飲食提供施設からの届出を受理している。

ア 届出数 (単位：件)

	R5年度	R6年度	R7年度
新規	—	2	1
変更	—	—	—
廃止	—	—	1

イ 喫煙可能室設置施設数（年度末時点）

400施設

(2) 違反施設への対応

健康増進法の一部を改正する法律（平成30年法律第78号）の規定により、法令違反が疑われる施設に関する情報が寄せられた場合、管理権限者等に連絡を行い、必要に応じて指導・助言を行う。

ア 通報等受付件数 (単位：件)

	R5年度	R6年度	R7年度
受付件数	8	9	7

イ 違反内容別件数（延）

(単位：件)

違反内容	R5年度	R6年度	R7年度
喫煙禁止場所における喫煙	4	3	—
喫煙器具、設備等の設置	—	—	—
紛らわしい標識の掲示、標識の汚損等	1	3	1
20歳未満の者を喫煙室に立ち入らせる	1	2	—
その他	4	2	6
計	10	10	7

9 がん・たばこ等に関する普及啓発

実施日	実施内容	参加者等 (人)	啓発内容 内訳			
			がん	女性の健康	肝炎	たばこ
4月19日	太田油脂サックスフェスタ	509	○			
5月	禁煙デー・禁煙週間 あいち健康プラス・企業メール・市公式SNS・ エフエムEGA0・まめ吉SNS・市関連施設・幼児 健診でのポスターによる啓発	—				○
6月	がん検診受診券発送に合わせ、市政だより特集 ページ作成、企業メールによる啓発	—	○			
7月	日本肝炎デー・肝臓週間 あいち健康プラス・まめ吉SNSによる啓発	—			○	
8月23日 24日	野菜を食べよう大作戦（イオンモール岡崎）	638	○			
9月27日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンあいちinお かざき（岡崎市後援）	147	○			
10月	がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン 乳がん啓発月間 啓発動画の制作、殿橋・明代橋、岡崎城天守・ 大手門ライトアップ、市公式SNS・企業メー ル・まめ吉SNS・エフエムEGA0による啓発	—	○	○		
10月12日	秋のげんきまつり	323	○			○
10月14日	J R岡崎駅にて東京海上日動あんしん生命と協 働して乳がんの早期発見の啓発でチラシと啓発 物を配布	400	○	○		
10月11日 12日	愛知産業大学学祭	404	○			○
10月17日	岡崎市民病院フェス	733	○	○		○
10月18日 19日	人間環境大学学祭	66	○			○
10月19日	マンモサンデー（検診受診者44人）	44	○	○		
10月25日 26日	岡崎女子大学学祭	111	○			○
11月1日 2日	愛知学泉大学学祭	329	○			○
11月1日 2日	岡崎城下家康公秋まつり	1,258	○			○
1月11日	出初式（ブース企画参加者348人）	348	○			○
2月	女性の健康週間 愛知健康プラス・企業メール・まめ吉SNSによ る啓発	—		○		
通年	商工会議所・医療機関・薬局・タクシー会社・ 東京海上日動火災保険株式会社の協力によりチ ラシ・ポスターを設置、市民課・げんき館・岡 崎市民病院・岡崎城公園の協力により啓発動画 の放映	—	○			

10 がん患者・家族支援

(1) アピアランスケア用品購入費補助事業

ア 対象

- (ア) 申請日時時点で、岡崎市に住民票があるかた
- (イ) がんの治療に伴う脱毛等の症状により医療用ウィッグ等を必要とするかた、または外科的
治療による乳房の変形に対する補整具を購入したかた
- (ウ) 過去に県内市町村において同種の補整具について補助金を受けていないかた

イ 内容

1人につき購入金額の2分の1の額で、上限2万円まで

ウ 補助件数

(単位：件)

	R5年度	R6年度	R7年度
ウィッグ	139	124	153
乳房補整具	24	27	22
合計	163	151	175

エ 助成額

(単位：円)

	R5年度	R6年度	R7年度
ウィッグ	2,687,000	2,424,000	2,806,000
乳房補整具	386,000	449,000	351,000
合計	3,073,000	2,873,000	3,157,000

(2) 若年がん患者在宅ターミナルケア補助事業

ア 対象

- (ア) 申請日及びサービス等の利用時点で、岡崎市に住民票があるかた
- (イ) 年齢が40歳未満のかた
- (ウ) がんと診断されたかたで、医師に一般的に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと診断のあったかた
- (エ) 在宅における療養生活の支援及び介護が必要なかた
- (オ) 他の制度において同等の補助または給付を受けることができないかた

イ 内容

申請の上限額：在宅サービス、福祉用具の貸与、福祉用具の購入の費用の総額 6万円／月

補助金額：申請額の9割（上限額54,000円 1,000円未満切り捨て）

自己負担額：申請額の1割相当

ウ 実績

	R6年度			R7年度		
	補助対象者数（人）	補助件数（件）	補助額（円）	補助対象者数（人）	補助件数（件）	補助額（円）
在宅サービス	1	—	—	2	—	—
福祉用具の貸与		2	26,000		12	127,000
福祉用具の購入		—	—		1	27,000
合計	1	2	26,000	2	13	154,000